

## 平成25年度事業計画

### 1. 基本方針

- 日本の経済は、円高とデフレ不況が長引き、厳しい状況が続いている。ただ、昨年発足した新政権により、デフレ脱却と経済再生の方針が示され、日本経済に明るい兆しが見えはじめており、早期の景気回復に繋がることを期待したい。

このような状況下、公益社団法人として2年目を迎え、地域の多様なニーズに対応し、地域・社会の一員として「なくてはならない存在」になるよう努め、名実ともに社会に貢献できる公共性の高い団体として市民の期待に応えていく。

- シルバー人材センターは発足以来、定年で職場を離れた高齢者等が「福祉の受け手から社会の担い手へ」となることを目指して地域社会のコミュニティーづくりの中核となり、広範囲な事業を展開し現在に至っている。

一方高齢者を取り巻く環境は、公的年金の支給開始年齢の引き上げや平成25年4月1日施行の改正高年齢者雇用安定法により、希望者は全員65歳まで働けるようになる等、大きく変化している。

このような中、去年は団魂の世代が65歳に到達し、高齢者人口も三千万人を突破し、国民のほぼ4人に一人が65歳以上という超高齢社会に突入しており、その受け皿として地域に密着したシルバー人材センターの役割はますます重要となっている。

そこで、団魂の世代を迎え入れるために、役職員・会員が一丸となり、就業機会の確保や職域の拡大を図る等受け入れ体制の強化を進めていく。

- 平成15年6月に（社）大間々町シルバー人材センターが設立され、平成18年4月に（社）みどり市シルバー人材センターが誕生した。そして今年、設立10周年の節目を迎える。

そこで、これまで支えていただいた地域の皆様に敬意と感謝を表し、市民参加型のシルバーフェア等を開催し、さらなる事業拡大につなげていく。

## 2. 事業目標

事業目標を次のとおり設定し、計画的に事業を推進する。

- |            |           |
|------------|-----------|
| (1) 会員数    | 365人      |
| (2) 粗入会率   | 2.3%      |
| (3) 就業率    | 87.0%     |
| (4) 就業延べ人数 | 38,500人   |
| (5) 契約金額   | 171,000千円 |

## 3. 事業計画

### (1) 就業機会の拡充と就業率の向上

役職員・会員による民間企業、一般家庭、地方公共団体等への受注の働きかけを積極的に行い、新規受注開拓を図り、会員に適した就業機会を確保する。

### (2) 啓発活動の強化

当センターを理解してもらうためチラシの配布やホームページを活用した情報提供等の啓発活動を強化して、就業機会の確保・拡大につなげていく。

また、会員には毎月発行の「事務局だより」に情報を掲載し、常に全会員が情報を共有できるようにする。

### (3) 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業委員会を定期的で開催し、事故撲滅のための検証を行う。また、委員と職員による就業現場の巡回指導を強化し、会員の自覚と責任を啓発するために安全・適正就業強化月間や「作業前チェックリスト」による事前点検の実施及び安全・適正就業の日を設け、安全就業の徹底を図る。

また、「就業義務違反取扱要綱」を制定し、安全保護具の着用を義務付け、遵守できない会員に対しては一定のペナルティを科す等着用の徹底を図る。

### (4) 健康管理意識の高揚

市が実施する各種検診を受診するよう働きかけるとともに、親睦会行事の「ゴルフ」や「グランドゴルフ」等サークル活動への積極的参加を推進するなど、自己管理意識の高揚を図る。また、会員がインフルエンザ予防接種を受け易いように当センター内で集団予防接種を実施する。

### (5) 会員の拡大

健康で働く意欲のある高齢者の入会を促進するために、会員や役職員の口コミによる勧誘活動を積極的に行うとともに、親睦会の活動を通じて啓発・勧誘を実施する。

(6) 会員の技術向上と新規技能者の養成

職種転換・新入会員に対し、自主研修や実技研修を行い、技術向上・新規技能者の養成に努める。

(7) シルバーカルチャー教室の開室

会員の専門知識を生かし、楽しく学んで趣味の世界を広げるため、独自事業「シルバーカルチャー教室」を随時開催する。

(8) シニアワークプログラム「就農支援講習」への取り組み

平成22年度から毎年開催している委任事業の「就農支援講習」が好評だったため、今年度も夏野菜と冬野菜作りの実習を交えた講習に取り組む。

(9) 交通事故防止対策の実施

会員の就業中や就業途上はもとより、日常生活における交通事故を未然に防ぐため、今年度も「高齢者しあわせドライブ」事業への参加や、事故防止のために黄色いウインドブレーカーの着用を推進して、事故防止の意識を高める。

(10) 桐生市シルバー人材センターとの交流

隣接する桐生市シルバー人材センターと積極的な情報交換を行い、交流を深める。また、両互助会組織の交流行事を支援していく。

(11) 社会奉仕活動の推進

10月のシルバーの日に、岩宿博物館、阿左美沼、農林業センター、赤城駅、袈裟丸山登山口等の植え込みの手入れや清掃奉仕活動を実施するなど、積極的に社会奉仕活動を行う。